

天竜だより

静岡県立気賀高等学校 1年生の体験学習を実施しました！

天竜森林管理署では、毎年静岡県立気賀高等学校の職場体験学習を行っており、今年度も1年生を対象に6月16(水)～17日(木)の2日間にかけて実施しました。

体験学習を終えて、生徒達からは、「森林の大切さを知ることができた」「普段知ることのないことを知り、貴重な体験ができた」と感想が書かれた手紙をいただきました。

〈プログラム〉

生徒たちは2日間にわたって、以下のプログラムを体験しました。

1日目

午前：講義

(署の業務について、国有林について、森林の働き等)

午後：台風被害箇所(三ヶ日)の見学と被害後の事業(被害木の処理など)についての説明

2日目

午前：森林での作業体験(枝落とし)と収穫調査体験

午後：間伐体験

講義

実際に業務を体験するまえに、森林管理署というところはどのような仕事をしているのか？国有林とは？森林の手入れの仕方やはたらきとは？など、これから行う体験学習への理解を深めるための講義を行いました。



↑はじめての体験で、生徒たちは緊張した様子で話を聞いていました。

台風被害地見学

昨年度、三ヶ日・気賀地域の国有林は大きな台風被害を受け、特に被害を受けた箇所が彼らの通う高校の近くの地域だったことから、台風被害箇所の見学を行いました。台風直後の写真を生徒たちに見せると、自然災害のすごさを実感したようでした。また被害を受けた森林をどのように手入れしていくか、木材をどのように生産していくかを知ってもらうため、被害後に事業を行っている場所を説明しながら見学しました。



↑台風被害木を、架線をもちいて集材している様子を見学しました。

枝落とし体験

2日目、生徒たちは気賀の国有林(26年生ヒノキ林)において、枝落とし(林内に光をいれたり、節のない木材をつくるため木の枝を落とす作業)を体験しました。昨日話で聞いたことを、さっそく実践です。生徒たちと職員の総勢7名で枝落とし作業を実施しました。実施後、枝を落とされた林内はすっきり。生徒たちに、森林に日光が入り、明るくなっていく様子を実感してもらいました。



収穫調査と間伐体験

午後からは収穫調査(間伐などを行うとき、その対象となる森林にどんな木があって、どれだけの材積があるかを知るため、木の高さや太さ等を調査する作業)と間伐(木の密度を減らし、成長をよくするため一部の木を抜き伐りすること)をおこないました。間伐では、かかり木になったりして伐り倒すのが大変な箇所もありましたが、調査時に伐ることにした木7本すべてを伐り倒すことができました。最後には、生徒3人で協力をし、木をどういう風に伐って、どの方向に倒すかを自分たちで考えて間伐してもらいました。

